

令和3年度 大場地域ケアプラザPDCAシート\_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

包括への相談件数は年々増加しており認知症と虐待については特に多く相談が寄せられる。しかし認知症の方の子供世代(40~60代)には認知症についての基礎知識や包括の情報が浸透しておらず、今後も周知活動に取り組む必要がある。一方、認知症になっても参加できる地域活動や団体が増えてきており、そのサポートにも取り組んでいく。虐待に関しては関係機関同士の連携をより深め、素早い対応や事実確認、未然防止を含めた介護者支援を引き続き行っていく。こういった複雑化している相談が増える中で地域に対し身近な相談窓口としてケアプラザの周知に引き続き努めていく必要がある。障害については関わりが持てずにいるため関係機関と連携を図っていく。また体力チェックや認知症などの地域の担い手となるサポーター養成講座を行っているが、そのサポーターが主体となって活動している場は少ない現状にあるため、ケアプラザ以外での活躍の場が必要であると思われる。今後は認知症や虐待を含め、困ったときに相談できる場や人がいることで、『助けてと言いつける自分にも他人にも優しいまちづくり』を目指す。そのために地域の代表が集まる場に出向き、地域の現状を職員間で共有し、地域の担い手としても活躍できるような場づくりを共にできるよう働きかけていく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域アセスメントを通じてケアプラザが感じたニーズ(自主事業の広報、包括支援センターの周知、フレイル予防、権利擁護等)に対して、出張講座を働きかけて実施する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	6職種会議や区包括カンファレンスで地域情報のマッピング、地域アセスメントを行い、地域課題の可視化や情報共有を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Zoomの操作の仕方についての研修を地域向けに開催し、コロナ禍においても活動の方法を工夫していく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地区別推進会議や子育て連絡会、自立支援協議会等、他機関や学校関係者との会議等に参加し、各団体との連携を図り関係性の構築を目指す。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	コロナ禍においても少人数で「地域ケア会議」を開催できるよう工夫する。個別の課題から同様の課題を抱えた地域の現状を確認し、個別から包括レベルの会議が開催できるよう検討する。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

# 令和3年度大場地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	ケアプラザは公設の施設として、住民、地域団体、事業者等に対して公正中立な立場で課題解決に向けた業務運営にあたります。サービス選定等においては、選択肢を提示する等、相談者、施設利用者の意思を尊重し適切な対応を行います。	法人の規程、取組みに則り職員が連携してお客様の安全確保、情報管理に努めます。定期的な研修、会議への参加、ヒヤリハットの活用、他機関、事業所での事故事例などを通して情報の共有、注意喚起と事故防止に努めます。実際の個人情報取り扱いについては、チェックリスト等を活用し、複数の人員によるダブルチェックを徹底します。
実績		

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	住み慣れた地域で自分らしく自立した生活が継続できるよう支援します。	要介護状態になった方が住み慣れた地域で自立した生活が送れるようサービスを提供します。
職員体制	(管理者) 保健師1名 主任介護支援専門員1名 社会福祉士2名 予防プランナー1名	管理者(主任介護支援専門員) 1名 介護支援専門員 3名
契約者数		

## 3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	地域の方々が安心してご利用できるケアプラザを目指します	地域の方々が安心してご利用できるケアプラザを目指します	
実施体制	【実施日数】 308日 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 35人	【実施日数】 308日 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 12人	【実施日数】  【提供時間】  【定員】
利用料金・実費負担	要支援1:17,923円 要支援2:36,748円 要介護1:7,021円 要介護2:8,286円 要介護3:9,605円 要介護4:10,912円 要介護5:12,242円 【実費】食費:750円	要介護1:9,704円 要介護2:10,738円 要介護3:11,793円 要介護4:12,849円 要介護5:13,882円 【実費】食費:750円	

職員 体制	管理者:1名 生活相談員:5名 看護師:7名 介護職:29名 機能訓練指導員:7名	管理者:1名 生活相談員:5名 看護師:7名 介護職:29名 機能訓練指導員:7名	
契約 者数 等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度「大場地域ケアプラザ(施設名)」  
収支予算書及び報告書(一般会計) <地域活動交流>

(単位:円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,109,689		15,109,689		15,109,689	横浜市より
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)	490,000		490,000		490,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
収入合計	15,599,689	0	15,599,689	0	15,599,689	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,196,501	0	12,196,501	0	12,196,501	
本俸	4,362,000		4,362,000		4,362,000	
社会保険料	1,231,385		1,231,385		1,231,385	
手当計	2,221,914		2,221,914		2,221,914	
健康診断費	102,445		102,445		102,445	
勤労者福祉共済掛金	8,250		8,250		8,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	222,500		222,500		222,500	退職共済掛金
その他	4,048,007		4,048,007		4,048,007	非常勤給与
事務費	1,664,859	0	1,664,859	0	1,664,859	
旅費	12,000		12,000		12,000	旅費交通費
消耗品費	191,180		191,180		191,180	
会議随費			0		0	
印刷製本費	125,000		125,000		125,000	
通信費	327,187		327,187		327,187	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料(横浜市への支出)			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	75,373		75,373		75,373	施設賠償責任保険、車両保険(ガソリン代、修繕含む)
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
振込手数料	37,818		37,818		37,818	
リース料	300,599		300,599		300,599	PCリース、車両リース
手数料	112,050		112,050		112,050	給与計算等委託
地域協力費	163,786		163,786		163,786	諸会費、広報費
その他	309,866		309,866		309,866	保健衛生費、保守(システム)、委託(システム・諸謝金)、修繕費(他)
事業費	642,600	0	642,600	0	642,600	
運営協議会経費	13,600		13,600		13,600	予算:指定額
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)	629,000		629,000		629,000	事業費、保険料、謝金、CP祭り
その他			0		0	
管理費	4,959,245	0	4,959,245	0	4,959,245	
光熱水費	2,335,446		2,335,446		2,335,446	
清掃費	1,700,145		1,700,145		1,700,145	
機械警備費	111,104		111,104		111,104	
設備保全費	812,550	0	812,550	0	812,550	
空調衛生設備保守	506,792		506,792		506,792	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守	64,323		64,323		64,323	
害虫駆除清掃保守	35,440		35,440		35,440	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	205,995		205,995		205,995	植栽管理、ゴミ回収経費
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	276,500		276,500		276,500	予算:指定額
公租公課	950,000	0	950,000	0	950,000	
事業所税			0		0	
消費税	950,000		950,000		950,000	地域交流人件費消費税
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	20,689,705	0	20,689,705	0	20,689,705	
差引	△ 5,090,016	0	△ 5,090,016	0	△ 5,090,016	

自主事業費 収入	490,000	0	490,000	0	490,000	
自主事業費 支出	629,000	0	629,000	0	629,000	
自主事業 収支	△ 139,000	0	△ 139,000	0	△ 139,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度「大場地域ケアプラザ(施設名)」  
収支予算書及び報告書(一般会計) <包括・介護予防・生活支援>

(単位:円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	28,939,940		28,939,940		28,939,940	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,795,000		5,795,000		5,795,000	横浜市より
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)【包括】	193,560		193,560		193,560	
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)【介護予防】			0		0	
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)【生活支援】	37,100		0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
収入合計	35,119,600	0	35,119,600	0	35,119,600	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,865,326	0	31,865,326	0	31,865,326	
本俸	17,010,000		17,010,000		17,010,000	
社会保険料	4,045,919		4,045,919		4,045,919	
手当計	9,672,936		9,672,936		9,672,936	
健康診断費	95,174		95,174		95,174	
勤労者福祉共済掛金	33,750		33,750		33,750	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	719,031		719,031		719,031	
その他	288,516		288,516		288,516	
事務費	1,505,101	0	1,505,101	0	1,505,101	
旅費	22,000		22,000		22,000	
消耗品費	136,312		136,312		136,312	
会議滞在費			0		0	
印刷製本費	125,000		125,000		125,000	
通信費	286,485		286,485		286,485	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料(横浜市への支出)			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	75,373		75,373		75,373	
職員等研修費	90,700		90,700		90,700	
振込手数料	37,818		37,818		37,818	
リース料	359,587		359,587		359,587	
手数料	58,810		58,810		58,810	
地域協力費	12,750		12,750		12,750	
その他	300,266		300,266		300,266	
事業費	784,000	0	784,000	0	784,000	
協力医	504,000		504,000		504,000	予算:指定額
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)【包括】	0		0		0	
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)【介護予防】	222,000		222,000		222,000	
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)【生活支援】	58,000		58,000		58,000	予算:指定額
その他			0		0	
管理費	1,313,780	0	1,313,780	0	1,313,780	
光熱水費	620,814		620,814		620,814	
清掃費	449,022		449,022		449,022	
機械警備費	29,343		29,343		29,343	
設備保全費	214,601	0	214,601	0	214,601	
空調衛生設備保守	133,848		133,848		133,848	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守	16,988		16,988		16,988	
害虫駆除清掃保守	9,360		9,360		9,360	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	54,405		54,405		54,405	
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	73,500		73,500		73,500	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	35,541,707	0	35,541,707	0	35,541,707	
差引	△ 422,107	0	△ 422,107	0	△ 422,107	

自主事業費 収入	230,660	0	230,660	0	230,660	
自主事業費 支出	280,000	0	280,000	0	280,000	
自主事業 収支	△ 49,340	0	△ 49,340	0	△ 49,340	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各々項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:大場地域ケアプラザ

令和3年4月1日～ 令和4年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護			認知症対応型通所介護			
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入	6075			5496		5496	20651		20651	59974		59974	4119		4119	28011		28011	
	その他							1328		1328	12548		12548	456		456	4810		4810	
	事業・負担金収入										12548		12548	456		456	4810		4810	
									210		210									
	その他								1118		1118									
	<b>収入合計(A)</b>	<b>6075</b>		<b>6075</b>	<b>5496</b>		<b>5496</b>	<b>21978</b>		<b>21978</b>	<b>72523</b>		<b>72523</b>	<b>4575</b>		<b>4575</b>	<b>32820</b>		<b>32820</b>	
支出	人件費				1381		1381	20215		20215	60764		60764				21375		21375	
	事務費				1287		1287	1390		1390	5544		5544				2061		2061	
	事業費										6019		6019				2060		2060	
	管理費										6091		6091				1917		1917	
	その他				7705		7705													
	利用者負担軽減額																			
	消費税																			
	介護予防プラン委託料				7705		7705													
その他																				
	<b>支出合計(B)</b>				<b>10373</b>		<b>10373</b>	<b>21605</b>		<b>21605</b>	<b>78419</b>		<b>78419</b>				<b>27413</b>		<b>27413</b>	
	<b>収支(A)-(B)</b>	<b>6075</b>		<b>6075</b>	<b>-4877</b>		<b>-4877</b>	<b>373</b>		<b>373</b>	<b>-5896</b>		<b>-5896</b>	<b>4575</b>		<b>4575</b>	<b>5407</b>		<b>5407</b>	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和3年度 自主事業計画書・報告書

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	包括カンファレンス	H18	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャーのスキルアップ。関係者間の連携強化。	6:事業者		地域のケアマネジャーを対象に、勉強会や交流会、情報提供等を行う。民生委員や医療との連携の場を設ける。隔月開催。		
2	新任ケアマネジャー研修	H18	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	新任ケアマネジャーの育成、連携強化。	6:事業者		区内の新任ケアマネジャーに区内の地域包括(主マネ)合同でオリエンテーションや研修を行う。後期に月1回程度開催予定。		
3	あおばイキキ元気塾	H23	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の方々にいつまでも元気でいきいきと生活していただき、介護予防に関する知識を広く普及啓発することを図る。ハマトレの効果、継続して行うことの大切さを伝えることができる。ケアプラザから遠いエリアで行うことでケアプラザの周知や老人会の支援へ繋げることができる。	1:高齢者		ロコモ予防、口腔機能向上、低栄養予防、ハマトレ、ポジティブエイジングなど。初夏、秋頃に2コース開催予定。		
4	オーラルケア講座(仮)	R3	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	口腔内を健康に保つことは身体全体の健康にも繋がることや口腔ケアの大切さを伝えることができる。	1:高齢者		歯科医師によるオーラルフレイルの危険性や口腔ケアの大切さについての講演(Zoomでの開催も検討)。後期に1回開催予定。		
5	正しい感染症予防、フレイル予防講座(仮)	R3	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	コロナ禍で再会できていない集まりの参加者向けに、再開するためのきっかけづくりとして講座を開催する。	1:高齢者		感染予防策、自粛が続くことによる身体への影響、フレイル予防の大切さについて。初夏開催予定。		
6	はつらつ体力チェックサポーターフォローアップ研修	R3	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	体力チェックの再開に向けて体力チェックの目的や効果等を確認しモチベーションの維持に繋げる。	1:高齢者		体力チェックの事業目的、サポーターとしての役割や意義についての説明。計器の操作の確認など。初夏、秋頃開催予定。		
7	ウォーキンググループの立ち上げ	R3	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	個人でもグループでもでき、場所を問わずできるウォーキングを定期的に行うグループがケアプラザ近くに、グループ化を目指すことでロコモ予防や社会参加に繋げる。	1:高齢者		ウォーキングコースの検討、ウォーキングを行う上での正しい歩き方や体力づくりの講義、立ち上げに向けての打ち合わせ。毎月開催予定。		
8	大場ハマトレ部(仮)の立ち上げ	R3	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザエリア内にハマトレを定期的に行うグループがなく、グループ化を目指すことでロコモ予防や社会参加に繋げる。	1:高齢者		グループ立ち上げに向けての打ち合わせ、ハマトレの講義・実技。各月～毎月開催予定。		
9	健身操	平成24年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	① 地域の高齢者の介護予防につなげる ② 地域での顔見知りを作る	1:高齢者		概ね65歳以上の介護保険サービスを利用されていない方。講師による椅子に座って体の芯を動かせる体操。第2・4木曜日の月2回開催。		
10	スクエアステップ	平成28年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	健康寿命の延伸を目指し、概ね60歳以上の元気な方々を対象に、楽しみながら介護予防(転倒予防、認知機能向上)を目的に仲間づくりを行う。	1:高齢者		概ね60歳以上のお元気な方。講師による楽しみながら転倒予防、認知症予防を目的とした体操。第2・4金曜日の月2回開催。		
11	にこにこランド	平成18年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	①地域の乳幼児のいる親子の閉じこもり防止 ②同世代の子を持つ親子が地域で仲間づくりができる	3:養育者及び乳幼児		平成30年4月～平成31年3月生まれのお子さんとその保護者。リトミック教室。月3回、木曜日。前期後期制だが、前期はコロナの為中止。		
12	あそびのフリースペース さくらんぼひろば	H17	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①地域の子育て中の養育者と未就園児が互いに交流ができる ②養育者の地域での仲間づくり ③ボランティアを含めた世代間交流	3:養育者及び乳幼児		毎月第1木曜日 多目的ホールでの遊び場 不定期でイベント開催		
13	とっぴんぱらり	H20	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①地域の乳幼児のいる親子の閉じこもり防止 ②地域の親子の交流の促進	3:養育者及び乳幼児		毎月第4火曜日(8月だけ不定期)		
14	オアシス游	H15	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①地域の元気高齢者の外出の機会の創出 ②地域で顔見知りを作る	1:高齢者		概ね70歳以上で介護保険を利用していない方のお食事会と居場所。 開催時期未定。(例年は6月、8月、10月、12月)		
15	銀のつどい	H17	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	①ボランティア活動の活性化 ②地域の高齢者の閉じこもり防止	1:高齢者		65歳以上の方対象のミニデイサービス 毎週金曜日実施 一般開放のイベントもあり。		
16	防災訓練	H30	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	災害時に備え、ケアプラザ職員が役割を把握し、貸館のお客様、地域の方とともに、ケアプラザ内の防災訓練を行う。	5:地域		年2回。地域の方や登録団体の方を交えて、訓練を行う。		
17	全館清掃	H23	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	①ケアプラザの貸館利用団体同士の交流 ②登録団体が施設に愛着を持ち、きれいに使おうという意識付けができる	5:地域		年1～2回。地域の方や登録団体の方を交えて、ケアプラザをキレイにする		

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組みが求められる事業			1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	5: 共催(1と3)	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)					7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
18	キッズフラワーアレンジメント	H29	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	①ケアプラザとなじみの薄い就園児または小学生にケアプラザに来館してもらうきっかけづくり ②参加者がお互いの作品を見ながら会話することで、学年を超えて交流できる	4: 子ども・青少年		小学校中学年から中学生までを対象母の日と父の日の前日の土曜日に開催		
19	東海道53次ウォーキング	H29	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	①歩くことを通して、また、共通のゴールを目指すことで、参加者同士の交流を図る ②楽しんで体力づくりをする。 ③男性の地域参加を促す。	5: 地域		年2回開催。地域の方に講師になって頂き宿場をめぐっていく。		
20	かやのき土曜コンサート	H19	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	①地域の音楽家に地域活動に関心をもってもらうきっかけを作る ②地域の方がケアプラザに来館するきっかけづくり ③閉じこもりの防止	5: 地域		奇数月の第2か第4土曜日に開催 地域の音楽活動家と地域をつなぐ意味も込めて継続中。		
21	面白科学で工作	H22	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	①小学生やその養育者にケアプラザを知ってもらうきっかけづくり ②世代間交流の促進	4: 子ども・青少年		7月の最終週、あるいは8月開催。 子供たちの夏休みの自由研究の一環として支援している。		
22	親子でクッキング	H29	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	①地域の小学生やその保護者にケアプラザに来館してもらうきっかけを作る ②ボランティアと小学生や養育者の世代間交流の促進 ③養育者同士の交流の輪を広げる	4: 子ども・青少年		7月の最終週、あるいは8月開催。 地域の料理クラブあるいは、食生活等改善推進員等と共催して親子の食育を含めた活動		
23	かやのき祭り	H15	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	① 地域ケアプラザの地域へのPR ② 世代間交流の促進 ③ 地域活動団体を知ってもらう機会とする	5: 地域		年1回、11月第3日曜日に開催。 地域の方と共同して、ケアプラザを周知し、地域の様々な活動もアピールする		
24	葉書絵(年賀状)	H18	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者が共通の趣味活動を通して、地域での仲間づくりができる	1: 高齢者		年1回開催。 地域の方とくるとる年の葉書絵を作ることで趣味活動の充実と交流を図る		
25	親あるうちのライフデザイン	H29	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	①障がいのある方やその家族が今後についての必要な情報を得ることができる ②ほっぷについて、地域へ周知する	5: 地域		障がいのある当事者や家族が困っていることに寄り添うための支援 不定期開催		
26	ほっとサロン青葉出前サロン	R1	4: 共催(1と2)	1: 優先的に取り組み	精神に障害をお持ちの方や、メンタルヘルスに困っている方々の、身近な地域の居場所になれるように、ほっとサロン青葉が主催となり、共済事業として、カフェを開いていく。	2: 障害児・者		年3回程度開催 精神の病気を持つ方々を理解していくために、また地域での身近な居場所になれるための活動		
27	人形劇公演	H17	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	① 世代間の理解の促進 ② 子育て中の方が外出し、リフレッシュできる	3: 養育者及び乳幼児		年1回開催。 子供と養育者が一緒に楽しめる場の提供を軸に継続している。		
28	WITH クリスマス会	H26	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	①地域の常設の子育てひろばのPRと地域ケアプラザが子育て中の方が利用できる施設であることの周知 ②地域の子育て中の方のリフレッシュ ③同世代の子を持つ保護者同士が知り合うきっかけ作り	3: 養育者及び乳幼児		年1回、12月に開催。 子育て広場とコラボレーションして、地域の方々と様々な接点をもつ貴重な機会となっている。		
29	小中学生 書初め		1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	多世代交流の場として。	4: 子ども・青少年		年1回、1月に開催。 地域のクラブサークル「書遊会」の方と協力して多世代交流の場としている。		
30	千支の折り紙		1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	① 地域のボランティアの方に講師を依頼することにより、地域の方に地域活動団体を知ってもらうきっかけを作る ② 地域の高齢者の外出する機会作り	1: 高齢者		年1回開催。 地域のボランティアの方と地域の方が楽しみながら活動する機会を作っている。		
31	ボランティア交流会		7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	大場地域ケアプラザで活動して下さっているボランティアの皆さまとの勉強会と交流会。	5: 地域		年1回開催。 大場地域ケアプラザで活動して下さっているボランティアの皆さまとの勉強会と交流会。		
32	幼児安全法		1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	食べ物を詰まらせてしまった時の対処法や、急な意識消失の際の対応等、子育て中の親子の学びの講座。	3: 養育者及び乳幼児		年1回開催 子育てひろばWITHと赤十字との共催により行う子育て中の親子の学びの講座		
33	ボランティア養成講座	R3	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	講座を通して、新しい地域活動の人材を発掘し、高齢化等で新しい担い手に苦慮している団体の担い手支援につなげる。また、地福計画にある『担い手の発掘から育成の手法の定着』を目指す	5: 地域		ボランティアとは？(特技や趣味を生かした取り組みの紹介や活動中のボランティア団体の紹介) 開催日未定 山内地区センターにて		
34	山内地区センターで行う居場所づくり『ヤマリンのへや』	R1	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	小学生が集まりやすい地区センターで、子ども～高齢者まで多世代が交流できる場をつくる。高齢者は、特技を活かし活躍できる場とし、小学生は、高齢者と接する機会となることを目指す。山内地区地福計画の標2に準ずる事業	5: 地域	1: 高齢者 4: 子ども・青少年	ウチワ作り、しめ縄づくりを通じた交流 年2回(夏/冬) 山内地区センターにて		



<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）	<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
35	にこにこランド プレ		1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①地域の乳幼児のいる親子の閉じこもり防止 ②同世代の子を持つ親子が地域で仲間づくりができる	3：養育者及び乳幼児		年1回3月に開催 定例事業「にこにこらんど」を知ってもらうためのプレイベント。		
36	郷土料理をつくろう	H19	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	年に2回開催。10年継続している地域の方と中里地区社協との地福計画に基づいた事業。	5：地域		年に2回開催。10年継続している地域の方と中里地区社協との地福計画に基づいた事業。		
37	山内地区共催事業 『みんなで脳活レク』	H26	3：生活支援体制整備事業	2：発展させるねらい	①山内地区センターの利用者に地域ケアプラザの事を知る機会を作る ②山内地区に愛着を持つキッカケづくり ③山内地区在住の高齢者の居場所づくり ④山内地区社会福祉協議会との連携 山内地区地福計画目標3に準ずる事業	1：高齢者		身体を使った脳活レクの実施 9月予定 山内地区センターにて		
38	シニアボランティアポイント研修	H29	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	①65歳以上の方に向けた担い手づくり ②地域活動を始めるキッカケづくり ③活動団体の担い手支援 地福計画に準ずる事業	1：高齢者		シニアボランティアポイント研修 シニアボランティアポイント受入れ施設の紹介 実施時期未定		
39	認知症カフェ カフェかやのき	H29	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	・認知症ご本人や家族が安心して参加でき、必要に応じて相談ができ、地域の方、専門職、ボランティアなど様々な人が認知症についての情報交換ができる定期的な場づくり。 ・認知症サポーターの活躍の場づくり	5：地域		ゲストスピーチ、情報交換、体操などコロナ禍で開催可能な内容 毎月第1木曜日		
40	ZOOM講座	R3	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	・活動団体の関係者にZOOMを学んでもらえる機会を作る。	5：地域		ZOOMの開催方法、ZOOMの参加方法 年4回		
41	認知症サポーター養成講座	H20	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	地域を対象に認知症への理解につながる講座を実施することで、地域ぐるみで認知症の方を支えることができるようにする。	5：地域		認知症サポーター養成講座の実施		
42	介護者の集い	H18	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	家族を介護している方、家族を介護した経験のある方を対象に介護に関する話題について勉強する。また介護者同士が意見交換することにより、介護の現場で役立つ情報を相互に得る事ができる。	5：地域		毎月1回（第4水曜日）開催		
43	権利擁護講座	R3	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民向けに、権利擁護（成年後見制度・消費者被害、虐待防止）などの、制度の周知や予防の注意喚起を行う目的で、講師による講座を行う	5：地域		全3回で各回テーマを決めて開催する。		
44	エンディングノート講座	R3	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民向けに、意思決定支援ツールとしてのエンディングノートの内容や書き方について周知目的の講座を、他のケアプラザや区との共催で行う。	5：地域		年1回 他のケアプラザ、区と共催にて講座を行う。		